

お施主様のメリット：健康で快適な暮らし

断熱性の低い部屋

エアコン
設定温度 **24℃**

壁面温度
17℃

足元が
寒い



断熱性の高い部屋

エアコン
設定温度 **24℃**

壁面温度
23.7℃

足元まで
暖かい



断熱性が高いと、“温度ムラ”が軽減され住環境が改善

お施主様のメリット：健康で快適な暮らし

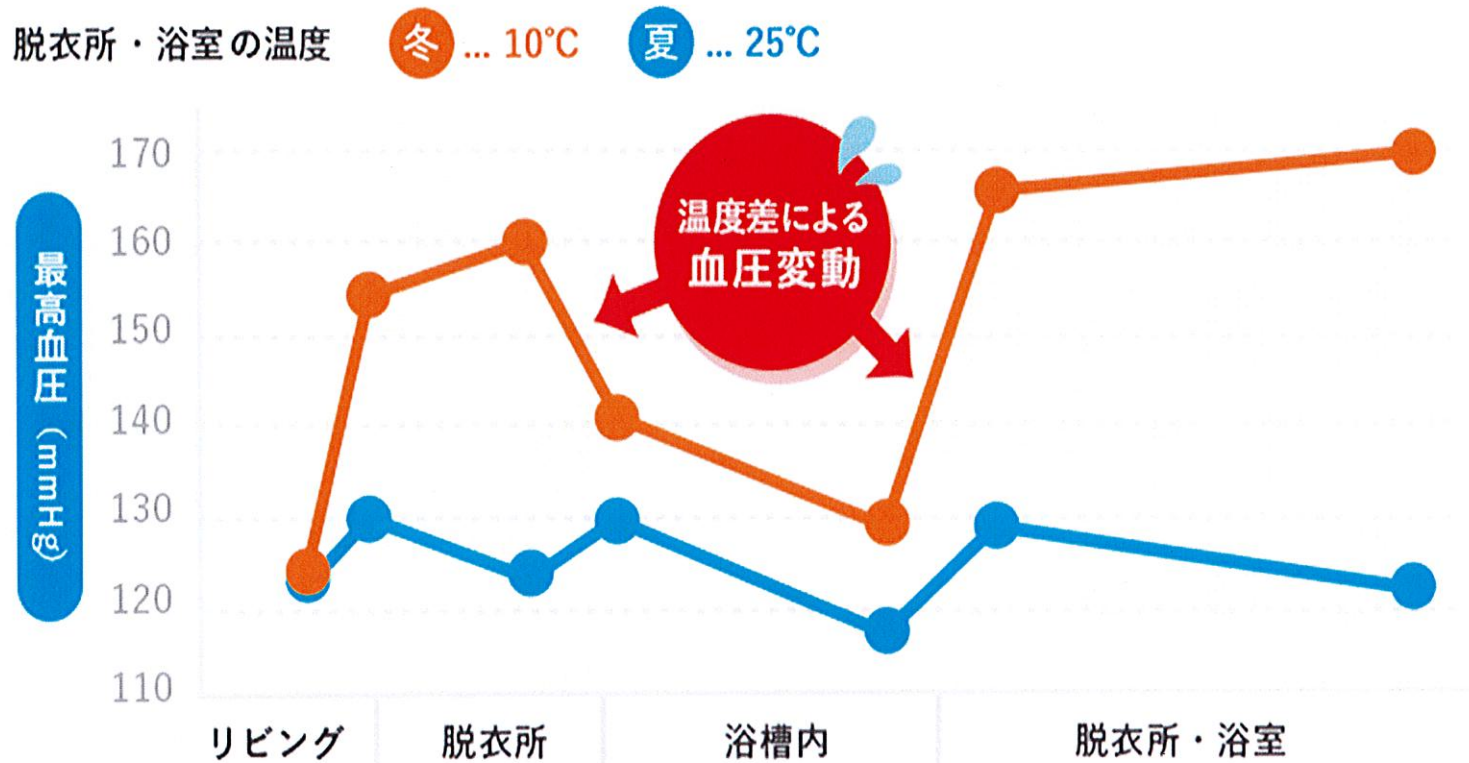
家の断熱性が低いと、
部屋と部屋の上に大きな温度差が生じてしまう



部屋間の温度差が大きいと "ヒートショック" を引き起こす要因に

お施主様のメリット：健康で快適な暮らし

冬場の**家の中の温度差**は**血圧変動**を引き起こします。
健康リスク低減には**壁・窓で断熱性を高める**ことです。



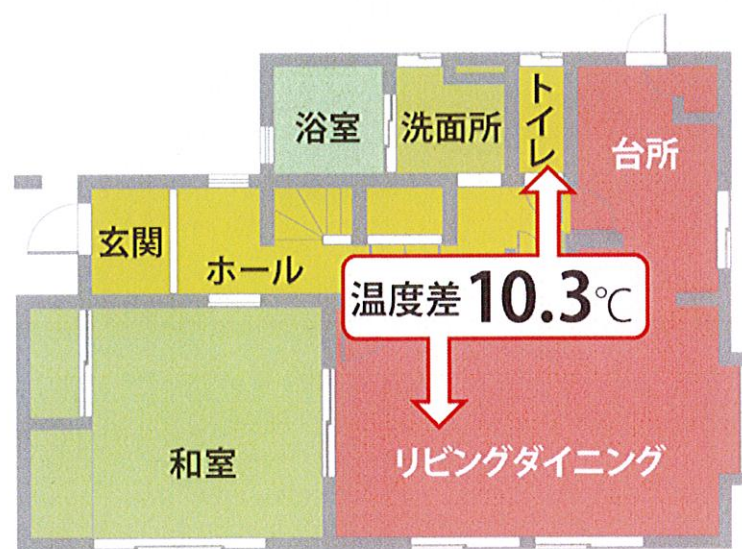
断熱性が高く健康リスク低減につながります！

お施主様のメリット：健康で快適な暮らし

より断熱性能を高めることで 部屋間温度差が緩和

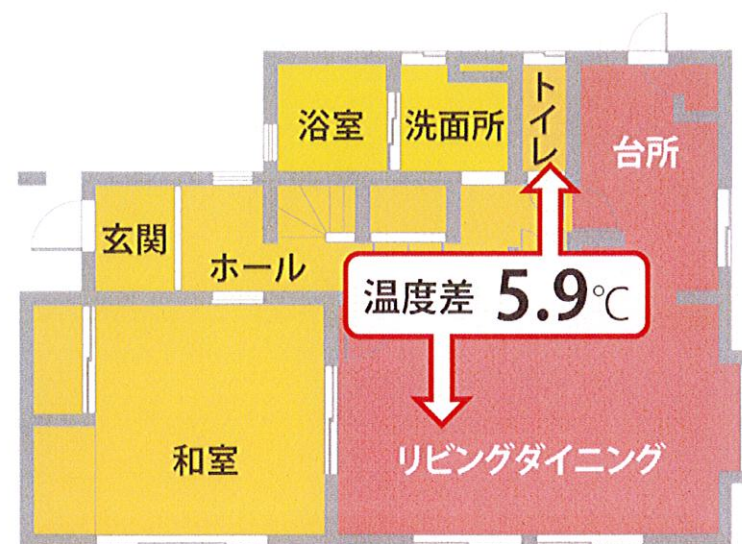
省エネ基準レベルの家

[UA値 = $0.87\text{W}/(\text{m}^2 \cdot \text{K})$]



LIXILモデルの家

[UA値 = $0.46\text{W}/(\text{m}^2 \cdot \text{K})$]



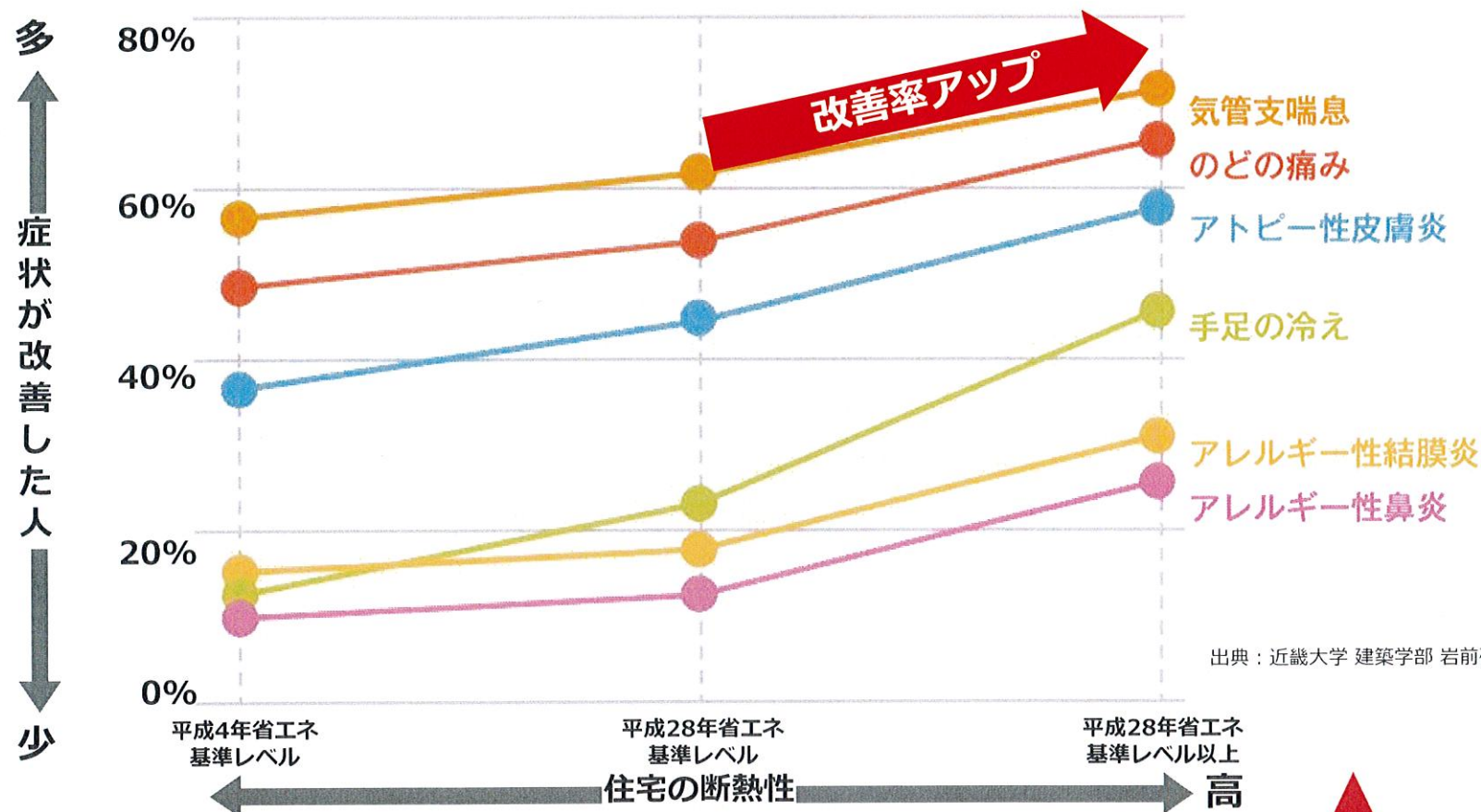
●地域区分：6地域を想定 ●外気温： 0°C (1月A.M.5:00) ●暖房設定温度： 20°C ●暖房設置箇所：LDK ※LIXILによるシミュレーション結果より

部屋間の温度差が緩和されることで ヒートショックのリスクも軽減

お施主様のメリット：健康で快適な暮らし

住宅の高断熱化による 健康改善効果

改善率 = $\frac{\text{新しい住まいで症状が出なくなった人}}{\text{前の住まいで症状が出ていた人}}$



省エネ基準より断熱性能を高めることで持病の改善率がアップ